



2023年2月2日

各 位

東京都中央区晴海一丁目 8 番 10 号  
株 式 会 社 メ ン バ ー ズ  
代 表 取 締 役 社 長 剣 持 忠  
(コード番号：2130 東証プライム市場)  
問い合わせ先 執行役員 グループ経営企画室長 米澤 真弥  
(TEL：03-5144-0660)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月10日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2023年3月期 通期連結業績予想値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株 当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,200	2,200	2,185	1,573	1,573	120.65
今回修正予想(B)	17,300	1,200	1,180	850	850	65.20
増減額(B-A)	△900	△1,000	△1,005	△723	△723	
増減率(%)	△4.9	△45.5	△46.0	△46.0	△46.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期通期)	14,938	1,876	1,896	1,404	1,404	107.73

#### 2. 修正の理由

デジタル経済の拡大とIT人材不足を背景として、当社はVISION2030において成長率目標を25%と定め、この目標に対し、新卒社員を中心にデジタルクリエイターの数を連結で2,020名(前期末比24.5%増)と十分に確保しております。一方で、主力のEMC事業における既存顧客に依存した営業体制により新規顧客の開拓に遅れが生じたことにより、2023年3月期通期連結売上収益は、前回発表予想を下回る見込みです。これに加え、利益面は、成長領域と目したEMC事業の大口顧客における非Webサイト運用領域が開拓途上であること、また、好調な新卒採用に比して中途採用数は2021年3月期以降計画を下回り、全社員数に対し新卒社員数の割合が大幅に高まったことから稼働率ならびにサービス力が低下し、売上成長率がデジタルクリエイターの増加率に追い付かず、前回発表予想を下回り減益となる見込みです。

来期においても、今期に続いて新卒・中途採用に先行投資し中長期を見据えた人的資本を拡充することで、今期同様の稼働率・収益性の低下を見込んでおりますが、①製販分離による営業体制の強化、②非Webサイト運用領域の専門特化型カンパニーの更なる拡大、③中途採用投資の拡大による人材ポートフォリオの改善／育成の抜本的強化の3つの改善方針を展開していくことで、2024年3月期の第4四半期には目標成長率の付加価値売上高25%増と営業利益率10%ペースを実現する高成長モデル、2025年3月期には通期で付加価値売上高25%増、営業利益率10%の高成長・高収益なモデルへの転換を実現してまいります。

なお、通期業績予想を上記のとおり修正いたしましたが、1株当たり年間配当予想(30円)については、財務状況や今後の成長見込みを鑑み、変更ございません。2023年3月期は一時的に減益となりますが、改善の方針を推進し、今後の成長に向けた投資を継続し、引き続きVISION2030の実現を目指してまいります。

(注)上記の予想は、現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

以 上